

2027

***Be a
Pioneer.***



金沢学院大学附属第二高等学校

KANAZAWA GAKUIN UNIVERSITY SECOND HIGH SCHOOL

開学の精神

“ Be a Pioneer.”

教育指針

英語力と理工学的思考力を養い、
新たな課題に柔軟に挑戦しようとする意欲を育む

異文化交流を通して多様な価値観に触れ、
国際感覚と日本人としてのアイデンティティを備えた開拓者を育てる

質の高い教育課程と進学指導により、
自らの未来を切り拓き、社会に貢献できる人材を育成する

本校は、金沢学院大学・金沢学院大学大学院・金沢学院短期大学・
金沢学院大学附属高等学校を擁する総合学園「学校法人金沢学院大学」
の附属中学校・第二高等学校です。

学校法人金沢学院大学は、1946年に創立された金沢女子専門学園
を源流とし、長年にわたり地域社会とともに歩みながら、多くの人材を
輩出してきました。本校はその理念を受け継ぎながら、新しい時代に求
められる教育を実現するために誕生した学校です。

AI技術の進化やグローバル化が急速に進む現代において求められるの
は、知識を身につけるだけではなく、自ら課題を見つけ仲間と協働しな
がら未来を切り拓いていく力です。本校では、確かな学力と豊かな人間
性を培い、自ら考え判断し行動できる人材を育成するため、開学の精神
である“Be a Pioneer.”を教育の中心に掲げました。新しいことにも失敗
を恐れず本気で挑戦できる、これまでにない学校づくりを目指します。少
人数教育によるきめ細かな指導、大学の附属高校であるという強みを活
かし、高度な理工学の学び、大学教授の指導による探究活動、海外研
修や長・短期留学、寮教育、そして仲間と切磋琢磨する学校生活を通し
て、生徒一人ひとりが自らの可能性を大きく広げていきます。

私たちはこの金沢の地から、地域社会、そして世界へ、自らの未来を
創造し、新しい時代を切り拓いていく「開拓者」を育てていきます。

学校長 村中 幸子



異なるスタートから、同じ頂点へ。

それぞれのスタートに最適なカリキュラムで力を伸ばし、
3年次からは特進コースとして一つになり、難関国立大・医学部合格へ、夢の実現を目指します。

金沢学院大学附属中学校から
中高一貫教育で進学する生徒
中高一貫 特進コース

6年間を見通した先取り学習で、
大学受験に向けた高度な学力と
探究力を育成します。

中学から先取り授業を実施
高2までに高校内容を修了
課題研究から探究活動へ深化
難関大学を目指す高度な演習
高3から受験対策に集中



他の中学校から
入学試験で入学する生徒
特進コース特別クラス

2年間で高校の内容を修了し、
高3から特進コースに合流。難関
大学合格を目指します。

高1から体系的な学習カリキュラム
高2までに高校内容を修了
少人数・個別指導で徹底サポート
土曜授業・集中講座で学習量を確保
高3からの特進コースと合流し、
大学受験対策に専念



高3で合流

特進コースとして
一緒に受験へ

高2

高校内容を完成

高1

基礎を固める

それぞれの強みを最大化する学び



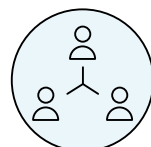
35人1クラスの
少人数・個別指導
一人ひとりに寄り添い、
学力を最大限に伸ばします。



充実した学習環境
土曜授業・集中講座・校内塾・
寮内学習で学習量を確保。



徹底した進路サポート
模試分析・個別面談・
志望校対策で合格へ導きます。



高3からの合流
同じ目標を持つ仲間とともに、
最後まで切磋琢磨できます。

それぞれのスタートを、最高のゴールへつなぐ。

金沢学院大学附属第二高等学校の特進コースは、一人ひとりの可能性を最大限に引き出すために設計されています。
私たちは、本気で未来をつかみたいあなたを全力でサポートします。

3年間の 成長ストーリー

学ぶ仲間がいるから、
競い合い、支え合い、高め合える。
少人数だからこそ、
一人ひとりの可能性を最大限に引き出します。
本気の仲間と、本気の先生と、
本気の3年間で。



1年で伸ばす

基礎力と学習習慣を徹底する



- ・基礎学力の徹底強化
- ・学習習慣の定着
- ・目標設定と学習計画
- ・探究の基礎を学ぶ
- ・海外研修・異文化体験

2年で広げる

視野を広げ、可能性を探究する



- ・応用力・思考力の向上
- ・課題研究から探究活動へ深化
- ・進路の方向性を明確化

3年で実現する

志望校合格・夢の実現へ



- ・志望校別対策の徹底
- ・実践的な演習と個別指導
- ・入試戦略の最適化
- ・夢の実現へ全力サポート



特進コース特別クラス ●カリキュラム●

週37時間の授業で、徹底した受験対策

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1年	国語 4			地理 歴史 4		数学 7							理科 6					保健 体育 3		芸術 1	英語 7					家庭 2	情報 1	総合 1	HR 1							
2年	国語 4			地理 歴史 2	公民 2		数学 7							理科 6					保健 体育 4		芸術 1	英語 8					情報 1	総合 1	HR 1							
3年	国語 6				地理 歴史 3		数学 7							理科 8					保健 体育 2		英語 8					情報 1	総合 1	HR 1								

夢や希望を実現する 学びの三層構造

◆特進コース

隔週で土曜も授業
週37時間を確保

授業

校内塾

◆校内塾

学習塾と連携し
英語と数学を強化

通常の授業をさらに先取り、深掘した大学
受験対策を行う徹底したハイレベルな校
内塾を展開します。



寮内学習

◆寮内学習

毎夜 2 時間程度
医学生チューターが個別指導

寮では毎夜2時間程度の寮内学習時間が確保
されており、寮担当教員による授業のほか、金
沢大学医学類の大学生チューターによる個別
指導を受けることができます。



特進コース特別クラス学習の流れ



		月	火	水	木	金	土
朝礼・朝学習	8:25~8:35	■高校1年次 国語・数学・英語を中心に高校内容を前倒して学ぶ 英検2級・漢検2級の取得を目標 ■高校2年次 文理選択 国語・数学・英語を中心に高校課程を修了 英検準1級・漢検準1級の取得を目標 ■高校3年次 「過去問演習」+「添削指導」の充実 高い学力を身に付け、超難関大学への進学を目指す					隔週で実施
1限	8:40~9:30						
2限	9:40~10:30						
3限	10:40~11:30						
4限	11:40~12:30						
昼休み	12:30~13:15						
予鈴	13:10						
5限	13:15~14:05						
6限	14:15~15:05						
7限	15:10~16:00						
校内塾	16:30~18:00		●		●		
部活動	18:00~19:00	●		●		●	

学校行事・テスト計画予定

●入学前オリエンテーション ●入学式 ●探究オリエンテーション(1年)	●遠足 ●開学記念日 	●県高校総体・総文 	●集中講座	●集中講座 ●進学合宿 ●清鐘祭(文化祭) 	●新人大会(前期) ●KG講座	●スポーツフェスティバル	●新人大会(後期)	●集中講座	●大学入学共通テスト ●推薦入試 ●一次入試	 ●オーストラリア研修旅行(1年) ●入学説明会 ●卒業式 ●集中講座	
●全統共通テスト模試(3年)	●1学期中間試験 ●全統記述模試(3年)	●進研記述模試(3年) ●駿台全国模試(3年)	●1学期期末試験 ●進研記述模試(全学年) ●全統共通テスト模試(3年)	●全統記述模試(3年)	●駿台ベネッセ 共通テスト模試(3年) ●駿台全国模試(3年)	●2学期中間試験 ●進研記述模試(1・2年) ●駿台ベネッセ 記述模試(3年) ●駿台全国模試(1・2年) ●英語技能検定(1・2年)	●漢字検定(1・2年) ●駿台ベネッセ 共通テスト模試(3年) ●全統プレ模試(3年)	●2学期期末試験	●英語技能検定(1・2年) ●進研記述模試(1・2年) ●駿台全国模試(1・2年)	●漢字検定(1・2年) ●課題研究発表会(1・2年)	●学年末試験
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
April	May	June	July	August	September	October	November	December	January	February	March

未来を切り拓く、4つの学び

大学につながる学び、世界へ広がる視野、そして自分の言葉で伝える力。
金沢学院大学附属第二高等学校では、未来を切り拓く力を育てます。

大学の学びを高校から

本校では、学びの質を高める取り組みとして、栗原聡先生をはじめとする慶應義塾大学理工学部の教授陣による高大連携授業を実施しています。講義テーマは「身近な現象からサイエンスの神髄を知ろう」とし、生徒にとって親しみやすい題材から本質的な科学的思考へと導く内容となっています。2026年度は全6回の講義を予定しており、光通信技術を活用して高速列車でも高速インターネット通信を実現する最先端の研究、「“ありんこ”の群れ」に見られる集団行動の法則、「“蛍の光”の同期」による自然界のリズム、「病気の感染モデル」による数理的な考察などを扱います。栗原先生は26年度から金沢学院大学情報工学部の教授（非常勤）も務めており、生徒には大学レベルの知見に触れることで、探究心と論理的思考力を育成します。



学びを自分の言葉で発信

総合的な探究の時間に与えられたテーマについて、自ら調べ、考え、まとめた成果を英語で発表します。情報を集めるだけでなく、その内容を整理し、自分の考えを加えて相手に伝える過程を通して、思考力・表現力・発信力を育てます。英語を「学ぶ」だけでなく、「使う」経験を積むことで、実践的な英語力も身につきます。仲間の発表に触れることで多様な視点や新たな問いに会い、学びをさらに深めていきます。



海外研修旅行では、現地の学校訪問や交流活動を通して、異なる文化や価値観に直接触れます。英語でのコミュニケーションに挑戦し、自分の考えを伝える経験を重ねることで、語学力だけでなく主体性や行動力も育まれます。教室で学んだ知識を実際の社会や生活の中で確かめることは、学びへの理解を深める貴重な機会です。新しい環境に一步踏み出す経験が、自分の視野を広げ、将来の可能性を大きく広げていきます。



世界に出て、視野を広げる

海外での学びや生活を通して培われた経験、多様な文化や価値観に触れてきた背景を大切にしています。語学力だけでなく、異なる環境の中で考え、行動し、自分らしく成長してきた姿勢を評価します。私たちとは異なる文化的経験を持つ仲間が集うことで、教室には新しい視点や対話が生まれます。多様な価値観に触れながら互いに学び合う環境は、一人ひとりの視野を広げ、これからの社会を生きる力を育てていきます。



帰国子女の受け入れ



個性は武器になる。 3年後の「合格」を逆算して突き進む毎日

総合コース 1年生(通学生)

小学生の時に体験入学で先生からかけられた、「『本気でやってみないか』という言葉」。それが、僕の挑戦の原動力です。僕にはオセロという特技がありますが、第二高校はそんな「個人の強み」を単なる趣味としてではなく、その人の才能として全力で尊重し、応援してくれる温かな校風があります。

高校進学後、僕の目標は「難関大学への合格」という、より具体的で高いものになりました。本校の強みは、3年後のゴールを見据えて戦略的にカリキュラムを組み立てられることです。日々の小テストや模試の結果を徹底的に分析し、得意を伸ばして苦手を潰していく。そのプロセスは、僕が大好きなオセロで勝利への戦略を立てることに似ていて、とても充実しています。

学校生活では、同じ目標を持つ友人とメディアゾーンで遅くまで勉強することもあります。教え合い、将来の夢を語り合う時間は欠かせないパワーの源です。何か一つでも「これだけは負けない」という情熱を持っているなら、第二高校は最高のステージになります。先生方と仲間が、あなたの「本気」を待っています。一緒に合格を掴み取りましょう。

世界は想像以上に近かった。 第二高校で見つけた未来へのパスポート

特進コース 2年生(通学生)

私は、「少数制という贅^{ぜい}沢な環境を使い倒して、世界へ羽ばたきたい」と考えています。中学での学びを止めることなく、さらに国際的な視野を広げたいという思いで進学しましたが、その選択は正解でした。高校では自分たちの意見を出し合い、納得のいくまで議論を重ねる授業が多く、主体的に学ぶ楽しさを実感しています。

一番の転機は、1年生で経験したオーストラリア語学研修でした。現地校での交流やホームステイを通じて異文化の荒波に飛び込んだ経験は、私の宝物です。「英語を学ぶ」のではなく「英語で世界とつながる」喜びを知り、将来は国公立大学の国際教養学部へ進みたいという明確な目標が定まりました。

第二高校の魅力は、先生方が私たちの夢を「自分事」として応援してくれるところです。放課後の個別指導など手厚いサポートがあるからこそ、自習の習慣が身につき、高い志を持つ仲間と切磋琢磨できています。ここならどんな大きな夢も叶えられると確信しています。皆さんも、世界への第一歩をここから踏み出しませんか。



在校生から

親元を離れた寮生活で手に入れた、 自分を律する「覚悟」

特進コース 1年生(寮生)

「自分を甘やかさない。その決意が、僕の学習と部活の質を劇的に変えてくれました」。中学時代の僕は、やるべきことを後回しにしてしまう癖がありました。しかし、親元を離れて寮に入り、高い志を持つ仲間と囲まれる中で、その甘さを捨て去ることができました。ここには、勉強にも部活動にも「本気」で取り組むことが当たり前という、心地よい緊張感が流れています。

高校の授業は中学よりも内容が深くスピード感がありますが、少数制のため先生が僕の理解度を細かく把握し、的確に指導してください。バドミントン部での厳しい練習と、難関大学進学に向けた学習の両立は簡単ではありません。しかし、だからこそ1分1秒を惜しんで机に向かう自律心が養われました。夜の寮内学習、静まり返った教室で仲間と切磋琢磨する時間は、自分を一番高められる瞬間です。「文武両道を口にするだけでなく、行動で示したい」と願う皆さん。第二高校には、その覚悟に応えてくれる環境が揃っています。

文武両道の先へ。 トランポリンで培った集中力を、 一生の武器にする

特進コース 2年生(通学生)

「トランポリンだけで将来を終わらせたくない」。その強い思いが、私をこの第二高校へと連れてきてくれました。競技に全力で打ち込みながらも、将来の選択肢を広げるための学習をおろそかにしたくないと考え、この道を選びました。

実際に高校生活が始まって一番に実感しているのは、先生方の非常に手厚いサポートです。私たちの疑問に一つひとつ丁寧に向き合ってくださいただでなく、日々の悩み相談にも親身に乘ってくださいます。そのおかげで、毎日の小テストにも「自分の力で乗り越えよう」と前向きに取り組めるようになりました。部活動と勉強の両立という忙しさの中で、いかに効率よく時間を使うかという「自律する力」が養われたと感じています。

現在は勉強と競技のバランスを高い次元で維持できるよう努めています。同じように高い目標を持つ仲間の存在も大きな支えです。不安を感じることがあっても、一歩踏み出して努力を続ければ必ず道は開けます。自分の可能性を信じて、私たちと一緒に新しい挑戦を始めてみませんか。



金沢学院の充実した施設



KGダイニング(大食堂)

中学校・第二高校棟の1階には、学園の学生・生徒のだれもが利用できる350席の大食堂が設けられました。朝、昼、夜の一日3食で、土日祝日も営業します。公認スポーツ栄養士の監修の下、栄養バランスの取れた品数豊富な定番メニューが用意されるほか、麺・カレー類も提供されます。寮生だけでなく、通学生も昼食に利用しています。



メディアゾーン

2階から4階までの各フロアの廊下には「メディアゾーン」が設けられ、新聞はもちろん、科学・歴史などの専門誌や図鑑がそろい、生徒たちが常にさまざまな情報に触れられる環境を整えています。知的好奇心を刺激するこの空間は、生徒たちの視野を広げ、自主的な学びを促すきっかけにもなっています。

さらに、校舎を結ぶ渡り廊下には、約1,000冊の図書を配架。推薦図書だけでなく、生徒アンケートで「読みたい」と多くの声が寄せられた本も取り入れており、物語・エッセイ・知識・趣味など、ジャンルも多岐にわたります。



プレゼンゾーン

2階の職員室前の廊下には、大型スクリーンとプロジェクターをセットした発表の場が用意されています。課題研究や探究活動、KGタイム(総合的な探究の時間)に関する発表と、その練習が可能です。



ラーニングcommons

普通教室が入る2階から4階までの各フロアの廊下(幅8メートル)には、探究型の学びを進めるための「ラーニングcommons」が設けられています。可動式の机と椅子、ホワイトボードなどが用意されており、生徒同士いつでも話し合ったり、教え合ったりすることができます。



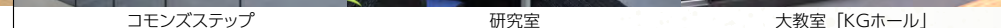
イノベーションセンター外観



エントランスホール



ラーニングcommons



commonsステップ

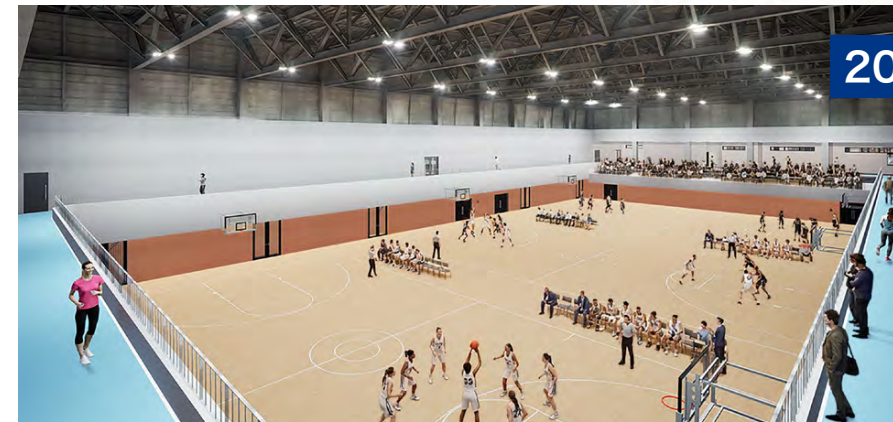


研究室



大教室「KGホール」

2027年春に新体育館が完成



SCHOOL CLUB ACTIVITIES

金沢学院大学附属第二高等学校では、開学の精神である「Be a Pioneer.」のもと、学業と部活動の両立を通して、自らの可能性に挑戦し続ける生徒を育成します。

部活動は、技術や競技力を高めるだけでなく、自ら考え行動する力や、仲間と協力しながら目標を達成する力を養う大切な学びの場です。日々の努力や挑戦の中で成功や失敗を経験し、それらを成長の糧とすることで、困難な課題にも粘り強く向き合

う力を身につけます。

また、多様な仲間との交流や切磋琢磨を通して広い視野と豊かな人間性を育み、自らの可能性を広げていきます。学業で培った知識や思考力と、部活動で身に付けた挑戦する力や協働する力を礎に、生徒一人ひとりが未来を切り拓く「開拓者(Pioneer)」として成長することを目指しています。

- | | | | |
|----------|--------------|------------|----------|
| ◆野球部 | ◆男子バスケットボール部 | ◆バドミントン部 | ◆トランポリン部 |
| ◆男子サッカー部 | ◆女子バスケットボール部 | ◆ラグビー部 | ◆卓球部 |
| ◆女子サッカー部 | ◆陸上競技部 | ◆女子バレーボール部 | ◆ゴルフ部 |

授業料等学納金について

授業料：38,000円 教育充実費：20,000円 後援会費：3,000円

◎合計61,000円(授業料につきましては、国の就学支援金制度の改正により実質無償となります。)

中学・高校 清鐘寮

仲間と磨き合う時間はもう一つの学び

本校では、寮生活を学校教育の延長線上に位置付け、
共同生活の中で生徒それぞれの才能、
能力を最大限伸ばしていく環境を用意します。

寮教育の指針

ともに暮らし、ともに学び
才能、能力を最大限、伸ばします

金沢学院大学附属中学校・第二高等学校は、次代を担う子どもたちの志を立て、それぞれが描く夢の実現に向けて切磋琢磨する姿勢を全力で支援します。そのため、寮生活を学校教育の延長線上に位置付け、共同生活の中で生徒それぞれの才能、能力を最大限伸ばしていく環境を用意します。

もちろん、その前提として、人に頼らず、自らの考えと計画のもと、自己管理能力と自主自立の精神、規律ある生活習慣の確立をめざします。同時に、仲間との交流を通して他者との「協調」を学び、友情と豊かな心、そしてともに高めあう心の育成を図ります。

居室

全200室とも個室、
エアコン、Wi-Fi機能完備

定員200名で、1、2、3階に男女別にゾーンを分けて個室が用意されます。1室は約8平方メートルで、全室に学習机、いす、ロフト型ベッド、クローゼット、カーテン、エアコンとWi-Fi機能が完備されています。

なお、学習時間、及び消灯後の居室への行き来は禁止し、休息、自習のための静かな環境を整えます。また、男子寮と女子寮の行き来はできません。

学習支援

寮内学習と個別指導でけん引

子どもたちの学力の定着、向上を図るにはまず、寮での勉強時間の確保と細やかな個別指導が不可欠です。

本寮では、定員50名の大学習室2部屋と定員35名の中学習室3部屋を用意し、毎日夜間学習を行います。さらに、本校教員や大学生がチューターとなって個別の学習指導を行うことで、生徒一人一人のニーズに合わせた学習サポートシステムを整えます。

寮監、寮母、教員が見守ります

寮生活というと、ホームシックや仲間とのちょっとした行き違いはつきものであり、甘えや我がままは許されないものです。その中で寮生は我慢や忍耐を覚え、人を思いやる心を身に付け、大きく成長していきます。

本寮では、経験豊富な寮監、寮母がサポートし、学校の先生たちも寄り添います。仲間と磨き合う寮での3年間は寮生にとって、もう一つの大きな学びの場となるのです。

食事

管理栄養士が監修
寮内調理で出来立て

平日、朝食は6:45から、夕食は19:00から寮1階の食堂で摂ります。登校日は、中高一貫コース棟1階にあるKGダイニングで昼食をとります。大学栄養学部の管理栄養士の監修のもと、栄養バランスや成長期に適した質・量などが配慮され、専属スタッフが寮内の厨房で調理する出来立ての料理となります。

リビング・コモンズ

男女寮各階に憩いの空間

男子、女子寮の各階にはリビング・コモンズと銘打つ憩いの空間が備えられています。カーベットのエリアでは各自が用意したマットを敷いてストレッチなどを行っています。そしてテーブルとイスが設置されているエリアは、寮生同士で語り合う場となります。

浴室・洗濯室

充実のランドリー施設

男子寮、女子寮の各1階に大型浴室が備わっています。一度に20名程度が入浴可能です。シャワーだけ浴びたい生徒のために脱衣室には専用のシャワー室も設けられています。

男子寮・女子寮の各フロアにそれぞれ洗濯室があり、洗濯機が乾燥機とセットで計36台備えられています。洗濯は生徒自身が行います。

安心・安全の体制

手厚い医療体制

寮監、寮母らが寮生の日頃の健康をチェックし、異変がある場合に備えて静養室も用意しています。その上で必要に応じて保護者と連絡を取りながら、医療機関を受診します。インフルエンザなど感染症に罹患した場合は、完治するまで自宅で静養してもらいます。

万全のセキュリティー対策

寮生はカードキーを持ち、寮監が帰寮、外出をチェックします。また、寮の周囲には防犯カメラを設置しています。

費用

入寮費：50,000円(入寮時のみ)
施設費：30,000円(入寮時のみ)
寮費：30,000円(月額)
食費：53,000円程度(月額)
共益費：9,500円(月額)
学習支援費：3,000円(月額)

① 寮費・食費は年間を通じた経費を月割りに換算したものです。
② 寮費・食費は半期(前期・後期)払い、または年額一括払いも可能です。
③ 食費は平日・土曜・日曜・祝日の食費(1日3食)を含みます。

寮生の1日

AM 6:45	起床・朝食
AM 8:00	登校完了
AM 8:25	朝礼・朝学習
PM 0:30	昼食・昼休み
PM 1:15	授業
PM 4:30	校内塾・部活動
PM 7:00	夕食・入浴
PM 8:30	寮内学習
PM 10:00	自由時間
PM 10:30	消灯



金沢学院大学附属第二高等学校

TEL.076-229-8876 / FAX.076-229-8934

〒920-1393 金沢市末町10

Email : kg2hs@kanazawa-gu.ac.jp



オープンスクール

金沢会場／7月26日㊥（会場：金沢学院大学附属中学校・第二高等学校）（10:30～12:40）

金沢会場／8月8日㊥・8月22日㊥（13:00～15:00）

9月26日㊥・10月18日㊥・11月14日㊥（10:00～12:00）

（会場：金沢学院大学附属中学校・第二高等学校）

東京会場／6月13日㊥・7月5日㊥・8月1日㊥・9月6日㊥・10月10日㊥・11月8日㊥

（会場：ビジョンセンター有楽町）

大阪会場／7月11日㊥・11月1日㊥（会場：TKPガーデンシティ大阪梅田）

京都会場／7月25日㊥・11月7日㊥（会場：京都テルサ）

愛知会場／6月21日㊥・10月31日㊥（会場：ウインクあいち）

※東京・大阪・京都・愛知会場の開催時間（15:00～16:30）

学校説明会

お問い合わせ：076-229-8876

お申し込み



HP

